

女性の社会進出に対する男女の意識差

内閣府が平成26年に実施した世論調査によると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する男女間の意識差は、次のような結果となっております。

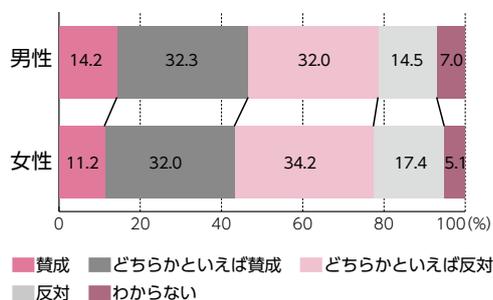
男性の賛成（賛成+どちらかといえば賛成）は46・5%であるのに対し、女性の賛成は43・2%と、男性よりも若干低くなっています。女性のほうが、反対意見を持つ人が多いことが分かりますが、男女間の意識差にはそれほど大きな違いはないという結果となりました。

賛成と答えた人の理由としては「妻が家庭を守った方が、子どもの成長にとって良い」といったものや「家事・子育て・介護と仕事の両立は困難」といったものの割合が高くなっています。反対と答えた人の理由は「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押し付けるべきではない」、「夫も妻も働いた方が多くの収入が得られる」などが多

くなっており、「女性が社会進出して活躍することができない世の中に反対だ」という理由は少数にとどまりました。

男女共同参画社会を実現する上で、「女性の社会進出」はそれが最終目標ではなく、あくまで過程の一つであるということをお忘れはいけません。その人の性別に関わりなく、それぞれのライフスタイルがあり、それを尊重することが、男女共同参画社会の実現につながるのだと思います。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意識（男女別）



〈他人事じゃない!? 怖〜いトラブル〉

消費生活のお話

広報広聴係（内線185）

インターネットで靴を注文したら注文したものと違うものが届いた
「一応、靴は届いたし、相手といういはやり取りするのは面倒くさい。仕方がないのであきらめる」

忙しい毎日を通っていると、このように考えて、あきらめてしまう人も多いのではないのでしょうか。しかし、何もしいままでは不正な取り引きや被害は減りません。業者に電話をしたり、消費生活相談の窓口にご相談することで、再発の防止や被害を最小限に抑えることができます。その行動は、健全な事業者が育ち、良質な商品やサービスが増えることにもつながります。

また、社会や環境に配慮した商品を購入することや、必要以上に物を購入し過ぎないことも、環境保護や適正な供給、資源の有効活用につながり、社会を変えるための消費者の行動の一つです。

消費者行動を通じて、わたしたちは社会全体の改善や発展に積極的に参加していくことができます。正しい消費者行動を心掛け、より良い社会を作り上げていきましょう。

消費生活相談窓口

日時 月～金曜日 午前9時～午後4時（予約優先）
場所 市役所1階 広報広聴係
※相談には、できるだけ契約者本人がお越しください。

